

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の検査受託を開始することになりました。  
取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 新規受託項目

- 抗RNAポリメラーゼⅢ抗体

項目コード：4807

#### 受託開始期日

平成26年1月4日（土）受託分より新規受託開始

※ 受託要項等の詳細は、裏面をご参照ください。

## 保健科学グループ



### 株式会社 保健科学研究所

本社／ 横浜市保土ヶ谷区神戸町 106 TEL 045-333-1661  
仙台支社／ 仙台市宮城野区扇町 1-3-5 TEL 022-236-9345  
中部支社／ 名古屋市西区則武新町 2-20-17 TEL 052-582-3201  
大阪支社／ 豊中市原田中 1-2-3 TEL 06-6843-5622  
福岡支社／ 福岡市博多区山王 2-14-34 TEL 092-452-0851

新潟臨床検査センター

保健科学東日本

日本ノーバメディカル研究所

いかがく

組織科学研究所

ケーアイエー細胞病理研究所

カスタムメディカル研究所

遠州予防医学研究所

日本厚生団衛生科学研究所

湘南医化学検査センター

小田原衛検

相模医研

東部メディカルセンター

新規受託項目

項目コード	検査項目	検体必要量	容器保存方法	検査方法	基準値	所要日数	実施料判断料	備考
4807	抗RNAポリメラーゼⅢ抗体	血清 0.3	G-1凍結	ELISA法	28未満 (index)	4~11	170 免疫	*4

検査場所: エスアールエル (\*4)

▼ 診療報酬算定条件

- ※ びまん性型強皮症の確定診断を目的として行った場合に、1回を限度として算定できる。
- ※ びまん性型強皮症の確定診断の際、陽性と認められた患者に関し、腎クリーゼのリスクが高い者については治療方針の決定を目的として行った場合に、また腎クリーゼ発症後の者については病勢の指標として測定した場合に、それぞれ3月に1回を限度として算定できる。

▼ 臨床的意義

全身性強皮症(SSc)の患者血清には高率で核成分に対する自己抗体が検出されており、これらの自己抗体(抗Scl-70抗体や抗セントロメア抗体など)は既に診断の補助として使用されてきております。  
 抗RNAポリメラーゼⅢ抗体は、全身性強皮症(SSc)に特異性が高く、日本人での陽性率は低めですが他の自己抗体との併存が少ない特色が有ります。また、同抗体の陽性例では皮膚硬化が急速に進行し、腎クリーゼが高率に発症すると言われております。  
 このため、全身性強皮症(SSc)や疑われる症例において同抗体を測定することは、重症度の把握や腎クリーゼによる透析導入を減らすために有用と考えられます。

▼ 判定基準

index	判定
28未満	(-)
28~50未満	(±)
50以上	(+)

▼ 参考文献

- 桑名 正隆: リウマチ科40(3): 239~245, 2008. (検査方法)
- 桑名 正隆: 分子リウマチ治療5(3): 153~156, 2012. (臨床的意義)